

第 37 回市民総合スポーツ大会
第 39 回 福岡市女子剣道交流大会

と き 令和5年4月16日（日）

【午前の部】 8時30分 開会式

【午後の部】 12時30分 開始式

ところ 福岡市総合体育館（福岡市東区香椎照葉）

主 催 福 岡 市
（公益財団法人）福岡市スポーツ協会
主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会
福 岡 市 剣 道 連 盟
後 援 （公益財団法人）福岡県剣道連盟

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとるとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
財団法人全日本剣道連盟

大 会 式 次 第

【午前の部】開 会 式

1. 開 会 の こ と ば
2. 会 長 あ い さ つ
3. 試 合 上 の 注 意
4. 選 手 宣 誓
5. 運 営 上 の 諸 注 意
6. 試 合

閉 会 式

1. 閉 会 の こ と ば

【午後の部】開 始 式

1. 開 始 の こ と ば
2. 会 長 あ い さ つ
3. 試 合 上 の 注 意
4. 選 手 宣 誓
5. 運 営 上 の 諸 注 意
6. 試 合

閉 会 式

1. 閉 会 の こ と ば

大 会 役 員

大会名誉会長	福岡市長	高島宗一郎
大会会長	福岡市剣道連盟会長	牧瀬憲保
大会副会長	福岡市東区剣道連盟会長	石橋正久
	福岡市西区剣道連盟会長	富永計久
	福岡市早良区剣道連盟会長	花田利夫
	福岡市城南区剣道連盟会長	大和竹史
	福岡市南区剣道連盟会長	井上和義
	福岡市中央区剣道連盟会長	佐々木健一
	福岡市博多区剣道連盟会長	鬼塚昌宏
大会名誉顧問	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会会長	西村松次
大会顧問	(公益社団法人)福岡県剣道連盟会長	青柳俊彦
	福岡連合地区剣道連盟会長	原博生
	剣道範士	宮川英俊
	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会専務理事	原田清子

大 会 委 員

大会委員長	福岡市剣道連盟理事長	國友秀三
大会委員	森田茂村田昇平下村健一郎	
	親川光紀深見心治蓮尾孝幸	
	田中健一	
総務委員長	湯口博史	
総務委員	村方章河原亮輔福永秀樹	
	小林長充青木幸孝草場太郎	
	石井豊勝	
本部委員	谷口浩司	
記録係	石井豊勝	
表彰係	田中寛	
接待係	平川陽一堀之内絵梨山田謙一郎	
救護係	石橋千春	

(順不同)

審 判 員

審判長 教士七段 大 和 竹 史

	【1 試合場】	【2 試合場】	【3 試合場】	【4 試合場】
審判主任	牧 正文	梅 津 裕一郎	久保田 哲 玄	森 山 和 博
審判員 1	神 田 真奈美	鶴 田 彰	鎗 光 隆 義	上 田 哲 也
審判員 2	山 内 正太郎	山 田 健 示	藤 嶋 晋太郎	永 見 賢太郎
審判員 3	村 田 亨 平	元 木 朱 実	手 塚 潤 司	西 祖 布由子
審判員 4	山 本 杏 莉	下 村 拓 史	松 田 一 郎	小 金 丸 卓 哉
審判員 5	橋 藺 和 誠	鯨 坂 正 秋	友 安 馨	川 内 義 文
審判員 6	羽 野 浩一朗	鍋 島 喜 一	三 浦 雄 蔵	高 田 智 子

	【5 試合場】	【6 試合場】	【7 試合場】	【8 試合場】
審判主任	濱 地 信 彦	橋 本 祥 史	末 松 稔	上 田 啓二郎
審判員 1	今 井 薫美子	島 井 貴 浩	親 川 佳 代	宮 園 幹 夫
審判員 2	吉 田 武 史	渡 邊 謙 尚	石 郷 健太郎	市 川 竜太郎
審判員 3	櫛 野 周 史	在 津 吾 朗	岸 川 憲 大	澤 明 美
審判員 4	山 本 信一郎	三 宅 智 子	大 藤 早 苗	宮 本 辰 則
審判員 5	山 根 宏 文	本 田 哲 也	志 水 秀 徳	井 下 勝 生
審判員 6	古 田 拓 也	山 本 聡	池 田 洋 一	間 杉 一 磨

係 員

【1 試合場】	【2 試合場】	【3 試合場】	【4 試合場】
【東 区】	【城南区】	【南 区】	【博多区】
堺 恵 子	村 山 英 紀	武 末 浩 美	梶 原 崇 史
藤 吉 尚 子	吉 田 博 則	森 本 馨	梶 原 智 美
松 本 真由美	富 永 真由美	宮 崎 晶 子	笹 川 祐 介
松 本 亜 衣	澤 田 祥 周	池 田 真裕美	笹 川 陽 子
鐘ヶ江 紗 代	上 野 卓 馬	川 崎 正 美	柏 真 美

【5 試合場】	【6 試合場】	【7 試合場】	【8 試合場】
【西 区】	【早良区】	【中央区】	【中央区】
福 岡 舞 鶴	勢 島 智 子	藤 原 憲 明	中牟田 久 美
福 岡 舞 鶴	上 原 美沙子	柴 田 行 一	横 川 佳 子
福 岡 舞 鶴	中 村 揚 子	阿 口 直 樹	藤 井 伸 亮
福 岡 舞 鶴	山 下 忠 泰	青 野 仁	藤 田 和 朗
福 岡 舞 鶴	古 相 純 子	江 藤 孝 昭	出 塩 策 一

令和5年度 第36回市民総合スポーツ大会
第39回福岡市女子剣道交流大会
(兼 令和5年度 全国健康福祉祭 剣道交流大会 予選会)
実施要項

1. 趣 旨 女子剣道の交流を目的とし、地域各団体の今後の活動を活発にすると共に、女子剣士相互の友情を深め女子剣道の普及発展に寄与することを旨とする。
2. 主 催 福岡市・(公財)福岡市スポーツ協会
3. 主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会・福岡市市民局スポーツ推進部スポーツ事業課・福岡市剣道連盟
4. 後 援 福岡県剣道連盟 他
5. 期 日 令和5年4月16日(日)
【午前の部】(会場受付…午前7時30分～ 開会式…午前8時30分)
【午後の部】(会場受付…午後11時30分～ 開始式…午後12時30分予定)
6. 会 場 福岡市総合体育館 (福岡市東区香椎照葉 TEL092-410-0314)
7. 参 加 資 格 福岡市内の各道場、公民館、クラブ活動及び学校を単位とした責任ある団体に所属する「女子選手」を対象とします。**大会出場の年齢は、学生については令和5年4月1日現在の新学年を基準とします。**
8. 競 技 種 目 『個人戦』(9部門)
【午前】①小学生1～2年の部 ②小学生3～4年の部 ③小学生5～6年の部
④一般30歳未満の部⑤一般30歳代の部⑥一般40歳以上の部

【午後】⑦中学生1年の部 ⑧中学生2～3年の部 ⑨高校生の部

『団体戦』(1部門)※女子の団体戦は実施しません。
【午後】⑩男子60歳以上の部(令和5年度 ねんりんピック予選会)
9. チーム編成 (⑩の部門について)
 1. 同一団体(支部)から2チームまでの参加を認めます。
 2. 男子60歳以上の部 1チーム選手5名。
60歳以上の部は、1.監督1名、選手5名(この内70歳以上1名以上、65歳以上1名以上)、交代選手2名以内の合計8名以内。監督は選手を兼任できますが、その際は選手としても登録して下さい。
 3. チームの選手は7段以下とし、交代を行っても、競技する5名のうち65歳以上が1名以上、70歳以上が1名以上含まれるものとします。
 4. 選手のオーダー編成は、年齢の若い順とします。
 5. 交代選手の起用については認めますが、交代した選手は再度出場することができません。この場合においても3.に従いオーダー編成を行って下さい。
 6. 支部全体での編成を認めます
10. 組 合 せ 組合せは、主催者で行います。
11. 試合・審判及び試合方法 (1)全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、細則、並びに本大会試合要項により行い、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・試合方法で実施します。
(2)試合は、個人戦・団体戦共にトーナメント方式により行います。

(3)『個人戦』

- ・試合は3本勝負とし、試合時間は、①～③の部門は2分間、④～⑨の部門は3分間とします。試合時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとします。
- ・延長戦に入ってから試合時間は、全部門2分ずつに区切って行い、3回の延長で勝敗が決しない場合は休息をとり、その後は状況に応じて休息をとります。

【個人戦選手の変更】 ・個人戦の選手の欠場について、最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。欠場の場合は不戦敗とします。個人戦の選手の変更は原則として認めません。

(4)『団体戦』※令和5年度全国健康福祉祭 剣道交流大会 予選会

- ・試合は3本勝負とし、試合時間は3分間とします。
試合時間内に勝負が決しない場合は引き分けとします
- ・チームの勝敗は、勝者数によるものとします。勝者数が同数の場合は、勝本数によって決定します。
なお、全て同数の場合は、最初に引き分けた組による代表戦を行います。
- ・代表戦は1本勝負とし、試合時間は2分間とします。3回の延長で勝敗が決しない場合は休息をとり、その後は状況に応じて休息をとります

【団体戦選手の変更】 ・〈i〉選手のオーダーの変更は不可。

〈ii〉団体戦の選手の欠場について、最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。欠場の場合はそのポジションを不戦敗とします。

〈iii〉参加申込後に団体戦の選手の変更が生じた場合、交代選手は当該参加団体に所属する者で、交代するポジションは試合当日変更のあったポジションとし、チーム最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。これ以降の選手の変更は認めません。

12. 表彰 (1)個人戦・団体戦の各部門、優勝1名、準優勝1名、3位2名には、それぞれ賞状とトロフィーを授与します。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の一環として、表彰は各部門で決まり次第随時行います。
(2)参加者全員に参加賞を授与します。

13. 主催責任者 福岡市剣道連盟理事長 國友 秀三

14. 問い合わせ先 福岡市剣道連盟 事務局長 湯口博史 (携帯090-6298-9083)

15. その他 (1)参加申し込みの際、学校と所属団体・教室との重複エントリーにご注意願います。
(2)所属団体名と姓を明記した「名札」を付け、紅白の目印は各自持参して下さい。

(3)大会中の事故については、応急処置は主催側で行いますが、その後の治療等については各団体または個人で処置して下さい。なお、傷害保険等は各団体で加入して下さい。

(4)駐車場は施設駐車場をご利用下さい。(1台500円)

(5)指導者、引率者様へのお願い

- ・コロナウイルス感染拡大防止策の一環として、保護者の入館(観客席)は、選手1名につき1名までとさせていただきます。
- ・コロナ対策の一環として、申込後に事務局よりご登録頂いたメールアドレスに追加の連絡事項をお送り致します。予めご了承ください。
- ・選手に限らず、体育館にご入場の際は、必ずマスクをご着用ください。
- ・近年の大会で、会場内外でお子様による怪我や、公共物の破損等が多発しております。
お子様(選手・選手以外)が会場内で事故や、器物破損などを起こさないように十分にご注意、ご指導をよろしくお願い申し上げます。また、万が一お怪我をされた場合は、一切責任を負えません。また、器物破損につきましては、修理をして頂きます。
予めご了承ください。

試 合 順 序

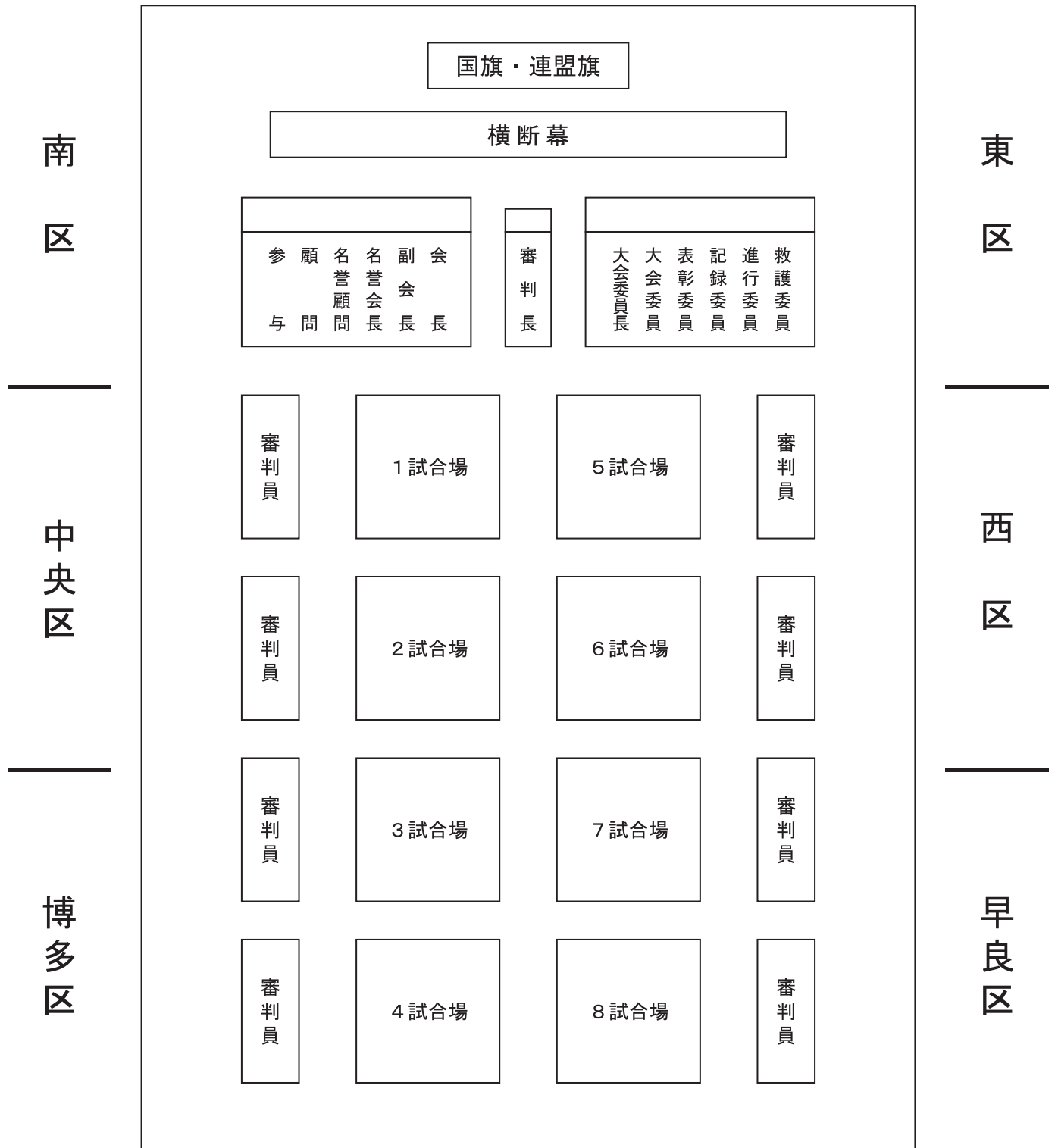
	1 巡目	2 巡目	
午前の部			
1 試合場	60 歳以上男性団体戦 650～653 3 試合 決勝は 1・5 試合場どちらかで行う	一般の部 30 歳未満の部 11 試合 一般の部 30 歳以上 40 歳未満の部 8 試合	
2 試合場	小学生 1～2 年生の部 20 試合	小学生 5～6 年の部 B グループ 23 試合	
3 試合場	小学生 3～4 年生の部 A グループ 20 試合	小学生 5～6 年の部 C グループ 23 試合	
4 試合場	小学生 3～4 年生の部 B グループ 19 試合	小学生 5～6 年の部 D グループ 23 試合	
5 試合場	60 歳以上男性団体戦 654～658 4 試合 決勝は 1・5 試合場どちらかで行う	一般の部 40 歳以上の部 14 試合	
6 試合場	小学生 3～4 年生の部 C グループ 20 試合	* 試合状況に応じて 移動します。	
7 試合場	小学生 3～4 年生の部 D グループ 20 試合		
8 試合場	小学生 5～6 年の部 A グループ 23 試合		

	1 巡目	2 巡目	3 巡目
午後の部			
1 試合場	中学 2～3 年の部 A グループ 28 試合	中学 2～3 年の部 G グループ 27 試合	高校生の部 G グループ 17 試合
2 試合場	中学 2～3 年の部 B グループ 27 試合	中学 2～3 年の部 H グループ 27 試合	高校生の部 H グループ 17 試合
3 試合場	中学 2～3 年の部 C グループ 28 試合	高校生の部 A グループ 17 試合	* 試合状況に応じて 移動します。
4 試合場	中学 2～3 年の部 D グループ 28 試合	高校生の部 B グループ 16 試合	
5 試合場	中学 2～3 年の部 E グループ 28 試合	高校生の部 C グループ 16 試合	
6 試合場	中学 2～3 年の部 F グループ 27 試合	高校生の部 D グループ 16 試合	
7 試合場	中学生 1 年の部 A グループ 22 試合	高校生の部 E グループ 17 試合	
8 試合場	中学生 1 年の部 B グループ 22 試合	高校生の部 F グループ 16 試合	

○試合順序は進行状況により変わることがあります。ご注意ください。

○決勝戦および決勝トーナメントの実施は、試合場の準備が出来次第、順次案内しますので、本部の指示にしたがってください。

大会会場案内図



南区

東区

中央区

西区

博多区

早良区

(観客席)

城南区

創志な

心印からきればは創の心を

創を業を人に教すは

先ず心を学ぶ事也

云集拾白卷

島田虎之助